

大事業	35	防災・防犯	担当部署	市民相談室		
中事業	30	消費者対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	10	消費者行政推進費		款	07 商工費	
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 商工総務費	
当初予算額 A		5,502,000 円		目的	消費者を取り巻く諸問題に取り組み、消費者行政を推進していくため、消費者被害の防止、消費生活に関する相談体制を強化し、消費者行政活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金	国	4,084,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	諸収入	9,000 円			
	一般財源		1,409,000 円			
人件費コスト B	1.1人役	8,858,300 円	総事業費 A+B	14,360,300 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【消費生活相談員等レベルアップ事業】	196,000円	196,000円	0円	0円	0円
消費者行政に従事する者のレベルアップを図るための研修の開催や消費者行政担当者が研修に参加するための支援を行う。					
【消費生活相談体制整備事業】	2,345,000円	1,172,000円	0円	9,000円	1,164,000円
消費者行政機能を強化するための人的体制の整備を行う事業で、主な費目としては消費生活専門相談員の人件費等。					
【地域社会における消費者問題 解決力強化に関する事業】	2,791,000円	2,716,000円	0円	0円	75,000円
地域社会における消費者問題解決力の強化を行う事業で、主な費目としては「より良い消費生活のための集い」に関する経費や消費者教育推進に関する経費。					
【消費者行政推進委託事業】	170,000円	0円	0円	0円	170,000円
地域で活躍する消費者団体に物価動向調査を委託し、市内の物価・消費動向を把握すると共に、消費者団体の育成を目指す経費。					



2016消費生活カレンダー



【より良い消費生活のための集い】
おたすけ劇団

【より良い消費生活のための集い】
柴山弁護士



				予算に関する説明書ページ数		P113	
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	20	商工業の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	12	商工総務費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01	商工総務費
当初予算額 A		6,078,000 円		目的	関東・近畿在住の安来出身者の親睦を図る。公共交通機関の利用促進を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		6,078,000 円				
人件費コスト B	0.3人役	2,415,900 円	総事業費 A+B	8,493,900 円			
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
【ふるさと会事業】	880,000円	0円	0円	0円	880,000円	東京安来会、近畿安来会を開催し、会員の親睦と安来市活性化のための協力を依頼する。	
	成果指標		目標値				
	総会出席者数		200				
【各種団体負担金事業】	254,000円	0円	0円	0円	254,000円	海上保安協会、島根県中小企業団体中央会、境港貿易振興会等への負担金。	
【電源立地地域対策交付金事業】	4,600,000円	0円	0円	0円	4,600,000円	広瀬町布部地区の金原水路機能回復事業を行う。	
【その他事業】	344,000円	0円	0円	0円	344,000円	計量器検査事業、港湾等の街路灯の電気代ほか。	

				予算に関する説明書ページ数		P113	
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	20	商工業の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	15	商工業振興費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	02	商工業振興費
当初予算額 A		85,732,000 円		目的	市内製造業の設備投資、雇用拡大を支援する。中小企業の経営改善、革新の取組みを支援する。ハガネの街、安来のPR。		
財源内訳	国・県支出金	県	6,695,000 円				
	地方債	過疎	21,500,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		57,537,000 円				
人件費コスト B	0.8人役	6,442,400 円	総事業費 A+B	92,174,400 円			
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
【企業立地促進奨励金事業】	4,339,000円	0円	0円	0円	4,339,000円	改正前の企業立地促進条例に基づき、企業が投資した投下固定資本に係る固定資産税を奨励金として交付することにより、企業の設備投資及び雇用増大を図る。	

【企業立地雇用促進奨励金事業】 30,000,000円 0円 0円 0円 30,000,000円

改正企業立地促進条例に基づき、企業が投資した投下固定資本総額の10%相当額や、新規雇用従業員数、空き工場等の家賃に係る経費を奨励金として交付することにより、企業の設備投資及び雇用増大を図る。

成果指標	目標値
件数	1

【ものづくり企業技術開発等支援事業】 10,000,000円 0円 0円 0円 10,000,000円

市内の特殊鋼関連産業をはじめとする「ものづくり企業」における新製品、新技術等の開発や取引拡大に向けた取組みを支援し、地域経済の健全な発展と雇用の促進を図る。

成果指標	目標値
件数	6

【中山間地域等雇用基盤強化支援事業】 10,000,000円 5,000,000円 0円 0円 5,000,000円

中山間地域等において地域の雇用や経済の中核を担う企業が、コスト競争力の向上や技術革新を図る目的で新たに設備投資を行う場合、雇用の維持を条件に、その設備投資を支援する。

成果指標	目標値
件数	1

【貸工場整備事業】 228,000円 0円 0円 0円 228,000円

オーダーメイド型貸工場事業を制度化し、入居企業を公募、審査、決定する。

成果指標	目標値
件数	1

【やすぎ刃物まつり事業】 5,358,000円 0円 5,000,000円 0円 358,000円

ハガネの街安来のPR及び中心市街地活性化を図る。

成果指標	目標値
来場者数（人）	30,000

【中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業】 1,000,000円 0円 0円 0円 1,000,000円

今後の中海・宍道湖・大山圏域の産業振興を図るため、ビジネスマッチング事業等を実施する。

【商工会議所等補助金事業】 18,200,000円 0円 16,500,000円 0円 1,700,000円

商工会議所、商工会の経営改善普及事業に対し補助金を交付し、企業支援を行う。

成果指標	目標値
会員相談件数（件）	4,000

【テクノグループ補助金事業】 340,000円 0円 0円 0円 340,000円

異業種団体であるテクノグループに補助金を交付し、企業の活性化及び販路開拓等の支援を行う。

【企業見学ツアー事業】 1,061,000円 0円 0円 0円 1,061,000円

安来市内の高校1～2年生を対象に市内製造業を中心とした企業及び地域資源等の見学ツアーを実施する。

【商業再生支援事業】 3,888,000円 1,695,000円 0円 0円 2,193,000円

空店舗へ出店を促すための家賃補助及び改装費補助、中山間地における店舗整備及び移動販売車購入補助を実施する。

成果指標	目標値
補助事業利用件数（件）	5

【太陽とみどりの里用地分譲事業】 1,318,000円 0円 0円 0円 1,318,000円

太陽とみどりの里用地について安来市土地開発公社が分譲事務を行うにあたりその事務費を負担する。

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課		
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
小事業	20	中小企業金融対策費		款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02	商工業振興費
当初予算額 A		101,300,000 円		目的 中小企業の設備投資等の支援を行う。		
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	諸収入	96,800,000 円			
	一般財源	4,500,000 円				
人件費コスト B	0.2人役	1,610,600 円	総事業費 A+B	102,910,600 円		

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【商工業振興給付金事業】 4,500,000円 0円 0円 0円 4,500,000円

中小企業が設備投資等による融資を受ける際の保証料の補給を行う。

成果指標	目標値
保証料補給件数 (件)	25

【中小企業金融対策事業】 96,800,000円 0円 0円 96,800,000円 0円

中小企業の設備投資等の際、資金調達が容易となるように金融機関に資金を預託する。

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	中心市街地活性化事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 商工業振興費
当初予算額 A		8,138,000 円	目的	やすぎ懐古館一風亭を拠点に中心市街地の活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	8,138,000 円			
人件費コスト B	1.0人役	8,053,000 円	総事業費 A+B	16,191,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【やすぎ懐古館一風亭管理事業】	4,466,000円	0円	0円	0円	4,466,000円

中心市街地活性化のキーステーションとして、やすぎ懐古館一風亭を有限会社やすぎ千軒に指定管理委託し、積極的な活用を図る。

成果指標	目標値
年間利用者数(人)	27,000

【中心市街地活性化事業】	3,672,000円	0円	0円	3,672,000円
--------------	------------	----	----	------------

平成25年度から継続実施している賑わい創出事業を安来商工会議所と連携しながら実施する。併せて、平成27年度から実施している「まちゼミ」事業を継続して実施し、個店の活性化を図る。

①「まちゼミ」開催事業

各個店の店主が講師となり、予約制で各店の専門知識をお客様に無料で講義し、お客様に店の存在・特徴、店主のこだわり・個性などを知っていただき、コミュニケーションの場から信頼関係を築く「まちゼミ」を開催する。

まちゼミの開催により、新しいお客様と出会うことができ、既存顧客の満足と個店の売上げが伸び、最終的にお客様に喜んでいただき、お店が繁盛し、街の賑わいに寄与する“みんなが幸せになる事業”を実施する。

- ・アドバイザーによる勉強会・反省会(計4回)
- ・まちゼミの開催(2回)



(アドバイザーによる勉強会の様子)



(第1回まちゼミの様子)

②賑わい創出事業

- ・情報科学高校と連携した「やすぎ神在月まつり」
- ・青年4団体と連携した「やすぎエンジョイチャレンジ」
- ・やすぎワイワイ宣言と連携した「ワイワイきつぷりマ」など



(やすぎ神在月まつり)



(やすぎエンジョイチャレンジ)



(ワイワイきつぷりマ)

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	30	産業活性化センター事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 商工業振興費
当初予算額 A		23,173,000 円	目的	地域雇用の拡大、域外マネーの獲得、市内循環型経済へのシフト、U・Iターンの推進、企業誘致の促進などにより地域産業の活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎 10,000,000 円			
	その他	0 円			
	一般財源	13,173,000 円			
人件費コスト B	2.2人役	17,716,600 円	総事業費 A+B	40,889,600 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【産業サポートネットやすぎ事業】	12,000,000円	0円	10,000,000円	0円	2,000,000円

地域雇用の拡大、域外マネーの獲得（拡大）、市内循環型経済へのシフト、定住促進を目的として、商工会議所・商工会・JA・市で組織する産業サポートネットやすぎにより、企業支援事業等を実施する。

成果指標		目標値
相談件数（件）		40
直接支援事業（件）		40
内訳	やすぎ夢追人支援事業	2
	サポートアドバイザー派遣事業	10
	セミナー開催支援事業	3
	展示会・商談会出展促進プログラム	8
	人材育成支援事業	3
	新商品新技術開発支援事業	5
	パッケージデザイン製作支援事業	5
	知的財産権取得支援事業	2
	国際規格認証取得支援事業	2

【商工業振興事業】	3,600,000円	0円	0円	0円	3,600,000円
-----------	------------	----	----	----	------------

「ヤスキハガネ」の生産管理、製造管理の専門家による、中小企業の販路拡大、製造技術高度化への支援を行う。

【企業誘致事業】	973,000円	0円	0円	0円	973,000円
----------	----------	----	----	----	----------

島根県企業誘致対策協議会をベースに、県と一体となり企業誘致活動及び誘致企業への訪問などのフォローアップを実施する。また、企業誘致等を円滑に進めるため企業信用調査会員制度を利用する。

【創業支援事業】	6,600,000円	0円	0円	0円	6,600,000円
----------	------------	----	----	----	------------

産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画に基づき、市内における創業、第二創業の実現に向けて、関係機関と連携しながら創業支援事業を実施する。

- ・セミナー開催事業
- ・チャレンジスペース事業
- ・ビジネスプランフォローアップ事業
- ・創業支援アドバイザーの雇用

大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課
中事業	20	商工業の振興		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	32	工業団地整備事業費			款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	02 商工業振興費
当初予算額 A			40,034,000 円		目的	新たな工業団地を整備し、地域産業の活性化と雇用機会の拡大を図る。
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	基金	40,000,000 円			
	一般財源		34,000 円			
人件費コスト B		0.3人役	2,415,900 円		総事業費 A+B	42,449,900 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【工業団地整備事業】	40,034,000円	0円	0円	40,000,000円	34,000円
新たな工業団地の整備に向け、調査設計、測量調査を行い、具体的な整備計画を策定を進める。					

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	駐車場管理費		款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 商工業施設管理費
当初予算額 A		8,788,000 円	目的	近隣住民、事業者、商店街利用者及び安来駅・荒島駅利用者の利便性の向上を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	使用料外 6,764,000 円			
	一般財源	2,024,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,415,900 円	総事業費 A+B	11,203,900 円	

新町駐車場、東小路駐車場、安来駅前自転車駐車場及び荒島駅前自転車駐車場の維持管理を実施する。



(新町駐車場)



(東小路駐車場)



(安来駅前自転車駐車場)



(荒島駅前自転車駐車場)

大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	15	観光総務費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	04	観光費
当初予算額 A			15,575,000 円		目的	観光客の誘致並びにこれに伴う市内の地域振興を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	22,000 円				
	一般財源		15,553,000 円				
人件費コスト B		0.7人役	5,637,100 円		総事業費 A+B	21,212,100 円	
【事業名称】	事業費		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
【市内観光地清掃・維持管理業務】	7,871,000円		0円	0円	0円	7,871,000円	
県立自然公園エリア外の観光地の公園管理及び観光施設の管理費。							
【観光情報発信事業】	3,118,000円		0円	0円	22,000円	3,096,000円	
各種イベント等での情報発信に係る経費。その他、既存パンフレットの増刷を行う。							
【広域観光事業】	4,586,000円		0円	0円	0円	4,586,000円	
観光関連団体へ負担金を支出し、広域的な観光戦略事業を行う。							
<ul style="list-style-type: none"> ・しまね国際観光推進協議会 ・島根県観光連盟 ・山陰観光連盟 ・神話の国縁結び観光協会 ・米子空港利用促進懇話会 ・出雲空港整備利用促進協議会 ・広島地区観光情報発信事業 ・中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会 							

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	20	観光振興費		款 07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項 01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目 04 観光費
当初予算額 A		60,662,000 円	目的	市内観光資源の整備・拡充を図り市外・県外からの観光客への対応力を培っていく。あわせて、観光キャンペーンにより入込客の増加を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円		
	地方債	過疎 37,500,000 円		
	その他	0 円		
	一般財源	23,162,000 円		
人件費コスト B	2.5人役	20,132,500 円	総事業費 A+B	80,794,500 円

【 事業名称 】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【観光情報発信事業】 新聞・雑誌・圏域観光マップ・市内PR看板等に広告を掲載し観光PRを行う。	1,582,000円	0円	0円	0円	1,582,000円
【安来市観光キャンペーン事業】 「安来旅」の魅力となる清水・さぎの湯エリアを中心としたコンテンツの造成や、各種プロモーション、今後需要が見込まれるインバウンドへの対応についての事業等を安来市観光協会へ委託し、認知度の向上と誘客の推進を図る。 ①着地型観光推進事業 清水・さぎの湯エリアの魅力を高めるため、清水寺灯参道・歴史体感ウォークの開催や、市内滞在時間の延長を目指し、「安来 いい旅、いい夫婦」事業及び奥出雲町連携事業により、特典付き周遊マップ発行等、周遊ルート提案の実施。 ②エリアプロモーション事業 尾道松江線の開通による山陽・四国方面の圏域や、首都圏・関西圏・中京圏域に対し、マスメディアを活用した誘客プロモーションを実施する。 ③インバウンド対策事業 クルーズ客船、DBSフェリー、米子ーソウル便、国際チャーター便等により訪日観光客が増加傾向にあり、受け入れ体制の整備をはじめ外国人向けコンテンツの充実を図る。 ④おもてなし向上事業 各種プロモーション等の際に、おもてなしの一環で配布するノベルティの作成等。	9,000,000円	0円	9,000,000円	0円	0円
【市民感謝デー開催事業】 安来節演芸館を市民交流拠点としての強化や安来節の普及活動を目的として、市民へのホール無料貸出しや市民向けの無料イベント等の開催や、開館10周年の記念イベントを実施する。	4,860,000円	0円	3,900,000円	0円	960,000円
【観光協会補助金事業】 観光に係わる地域振興の事業運営費として補助するもので、安来市観光協会各支部が実施するイベントへの支援、安来市と連携した観光PR等を行い、誘客並びに地域経済の活性化を図る。 ①本部事業（観光プラン推進事業、広告宣伝・広域連携事業、特産品販売事業等） ②安来支部分（桜まつり事業） ③広瀬支部分（桜まつり事業、祇園まつり事業、温泉まつり事業、ひなまつり事業他） ④伯太支部分（チューリップ祭事業、ひなまつり事業、母里・井尻夏祭り事業他）	36,300,000円	0円	17,600,000円	0円	18,700,000円
【月の輪まつり振興会補助金事業】 月の輪まつり振興会の行う各種行事（花火大会・市指定無形文化財行事・仁輪加・安来節公演と自治会ステージ）について補助する。	7,000,000円	0円	7,000,000円	0円	0円

成果指標	目標値
来場者数（人）	60,000

【新・ご当地グルメ開発事業】	1,620,000円	0円	0円	0円	1,620,000円
<p>どじょうを活用した地産地消型「新・ご当地グルメ」の開発と、開発後の各種PR・プロモーション及び発表会等を実施し、食による観光まちづくりを推進する。</p>					
【コンベンション開催支援補助金事業】	300,000円	0円	0円	0円	300,000円
<p>中国地区以上の規模のコンベンションにおいて、市内宿泊施設に宿泊する延べ人数が30名以上を超える場合について補助する。</p>					

				予算に関する説明書ページ数		P115
大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01	一般会計
小事業	25	安来節振興費		款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04	観光費
当初予算額 A		34,411,000円		目的	安来節演芸館を核とした観光客へのPRと各種イベントや宣伝普及事業により安来節の振興を行う。	
財源内訳	国・県支出金	0円				
	地方債	過疎	7,000,000円			
	その他	基金外	5,370,000円			
	一般財源	22,041,000円				
人件費コスト B	0.4人役	3,221,200円	総事業費 A+B	37,632,200円		
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
【安来節普及宣伝事業】	311,000円	0円	0円	0円	311,000円	
各種イベントへの安来節の出演等により積極的に安来節PRを図る。						
【安来節教室開催事業】	1,400,000円	0円	1,300,000円	0円	100,000円	
市内の交流センター・学校等で安来節教室を開催することにより安来節の振興を図る。						
【安来節演芸館指定管理委託料】	27,000,000円	0円		5,370,000円	21,630,000円	
安来節演芸館を指定管理者に管理運営委託し、安来節の振興及び市民利用を図る。						
【安来節普及宣伝委託事業】	1,200,000円	0円	1,200,000円	0円	0円	
家元に安来節の普及宣伝を委託することにより安来節の振興を図る。						
【安来節保存会補助事業】	4,500,000円	0円	4,500,000円	0円	0円	
安来節保存会の行う安来節の普及宣伝並びに安来節若手グループへの支援、振興事業（唄い初め会、安来節全国優勝大会等）に対し補助する。						

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	30	誘客推進事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 観光費
当初予算額 A		5,508,000 円		目的	安来市観光プランの実施や、魅力ある集客コンテンツ造成、月山富田城誘客推進事業を実施し、安来市への誘客推進を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入	10,000 円		
	一般財源	5,498,000 円			
人件費コスト B	0.5人役	4,026,500 円	総事業費 A+B	9,534,500 円	

【 事業名称 】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【誘客推進事業】	5,508,000円	0円	0円	10,000円	5,498,000円

月山富田城誘客推進事業としてボランティアガイド養成講座の開催や、観光案内業務の実施等を行う。また、地域おこし協力隊制度を活用し、安来市観光プランに基づく事業のサポート及び情報発信他の業務を担っていただき誘客の推進を図る。



(観光ガイド養成講座キックオフ講演会)

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	農林振興課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	どじょう振興費		款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	05 特産品振興費
当初予算額 A		13,134,000 円		目的	ドジョウの生産・出荷・販売体制の確立により、地域ブランドとしての「やすぎどじょう」の産地づくりを推進する。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎	7,500,000 円		
	その他	0 円			
	一般財源	5,634,000 円			
人件費コスト B	0.1人役	805,300 円	総事業費 A+B	13,939,300 円	

「どじょうすくい踊り」で全国的に有名な安来節の発祥地「安来市」。この全国区の知名度の地域資源を生かし、他地域にはできない新たな特産物を産出し、地域活性化を推進するためドジョウの養殖に取り組む。ドジョウ養殖は多くの波及効果と新たな情報発信とともに、遊休農地の有効利用の観点からも優位な特産物として評価できる。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【どじょう振興事業補助金】	7,900,000円	0円	7,500,000円	0円	400,000円
ブランドとしての「やすぎどじょう」の生産拡大には、生産組織の育成、ドジョウ養殖新規参入者の獲得及び養殖池拡大が必要となる。また良質なドジョウ生産には積極的な給餌管理が必要のために多くの経費を必要とする。こうしたドジョウ養殖経営を推進し、新たな地域特産品を将来にわたって産出するために助成事業を展開する。					
【その他振興事業】	5,234,000円	0円	0円	0円	5,234,000円

●養殖事業の取り組み状況

年度	生産者(人)	養殖池総面積(m ²)	放流稚魚数(万匹)	生産数量(kg)	販売数量(kg)	備考
H16	16	30,200	506	903	672	
H17	27	32,800	272	1,864	1,381	
H18	31	36,000	345	2,433	1,891	
H19	32	41,100	241	3,096	2,735	
H20	33	44,400	255	3,304	3,285	
H21	33	48,600	218	4,862	4,224	
H22	35	50,900	304	4,758	4,099	
H23	35	54,000	292	4,563	3,388	
H24	39	55,415	287	4,167	3,520	
H25	39	49,958	280	3,747	3,903	
H26	38	53,122	310	3,362	2,820	

●養殖技術改善

- ① ドジョウ研究所主要施設を効率的に活用することによって、優良稚魚を確実に生産し、また幼魚の年間確保を行い、一定基準まで到達したドジョウ養殖技術を更に高度なものとして定着させる。
- ② 効率的なドジョウ養殖技術を普及することによって新規参入者を拡大するとともに、地域性を生かしたドジョウ生産を将来にわたって継続させる。

●生産組織強化

ドジョウ生産者及び生産組織の経営改善によりドジョウ生産体制を整備し、良質なドジョウの生産によって、「やすぎどじょう」の地域ブランドを高める。

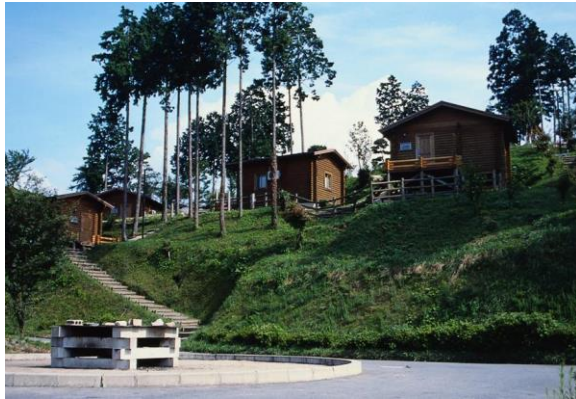
				予算に関する説明書ページ数		P119	
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	40	県立自然公園管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		1,762,000 円		目的	清水月山県立自然公園内にあるさぎの湯公園・清水公園の管理を行うことによって、自然の保護および公園利用の増進を図る。		
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	1,762,000 円					
人件費コスト B	0.1人役	805,300 円	総事業費 A+B	2,567,300 円			
<p>県内の優れた自然の風景地が県立自然公園として指定されており、清水月山県立自然公園もこの指定を受けている。このエリア内にあるさぎの湯公園、清水公園の管理を行う。ゴミ収集、草刈り、清掃、公衆トイレの管理、桜樹の管理等により県立自然公園内の自然の保護および公園利用の促進を図る。</p>							

				予算に関する説明書ページ数		P119	
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	45	温泉施設管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		37,725,000 円		目的	温泉の存在は観光客にとって、大きな魅力となっており、その活用は観光客誘致の要であるため、温泉施設の整備により観光地としての価値を高める。		
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	使用料外	8,061,000 円				
	一般財源	29,664,000 円					
人件費コスト B	0.5人役	4,026,500 円	総事業費 A+B	41,751,500 円			
<p>※ 一般財源に入湯税を含む。</p> <p>観光ルート拠点の核となる市内の3つの温泉（さぎの湯温泉、広瀬温泉、比田温泉）の泉源と温泉施設の管理を行う。</p> <p>泉源及びポンプ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さぎの湯温泉ポンプ施設管理委託 ・さぎの湯温泉深井戸水中ポンプ取替工事 ・広瀬温泉泉源ポンプ施設管理委託 ・広瀬温泉深井戸水中ポンプ取替工事 <p>温泉施設の維持管理（富田山荘・憩いの家・湯田山荘）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕 ・設備改修工事 							

大事業	45	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	50	上の台緑の村管理費		款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	06 観光施設管理費
当初予算額 A		13,873,000 円		目的	人的交流促進並びに観光客誘致によって観光振興、地域活性化を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	使用料	26,000 円		
	一般財源	13,847,000 円			
人件費コスト B	0.2人役	1,610,600 円	総事業費 A+B	15,483,600 円	

指定管理者により、上の台緑の村の管理・運営を行う。また、老朽化による施設修繕を行う。

- ・指定管理料 10,800,000円
- ・施設修繕ほか 3,073,000円



コテージ

				予算に関する説明書ページ数		P119	
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	55	野だたらと椿の里管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		1,503,000 円		目的	白椿ハウスを拠点とした布部ダム湖半「野だたらと椿の里」の利用促進を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料	2,000 円				
	一般財源		1,501,000 円				
人件費コスト B	0.1人役	805,300 円	総事業費 A+B		2,308,300 円		
<p>白椿ハウスを拠点とした布部ダム湖畔「野だたらと椿の里」の利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「白椿ハウス」の管理・運営を行う。あわせて観光案内所として来訪者への案内や情報提供を行う。 ・駐車場の清掃等を行い、施設的环境美化を図る。 ・「ふれあいの森」の維持管理を行う。 							

				予算に関する説明書ページ数		P119	
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	60	山佐ダム体験交流施設管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		1,230,000 円		目的	体験交流型レクリエーション施設として利用促進を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料	17,000 円				
	一般財源		1,213,000 円				
人件費コスト B	0.1人役	805,300 円	総事業費 A+B		2,035,300 円		
<p>指定管理者により、山佐ダムの水を生活用水・工業用水として利用している流域住民との交流を深め、ダムの持つ重要な役割を理解してもらうとともに、ダムの自然美をPRし、体験交流施設の利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 515,000円 ・施設修繕他 715,000円 							
成果指標				目標値			
利用者数(人)				3,000			

大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	65	絣センター運営費			款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度			項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06 観光施設管理費
当初予算額 A			8,986,000 円		目的	地域の歴史や伝統を体感できる「体験型観光」の振興を図る。
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	手数料外	4,211,000 円			
	一般財源		4,775,000 円			
人件費コスト B		0.3人役	2,415,900 円		総事業費 A+B	11,401,900 円

観光ルートの核となる施設の一つとして広瀬絣センターの管理・運営を行う。

- ・観光案内、県指定無形文化財の広瀬絣の制作説明、藍染めの体験指導等
- ・市の特産品及び広瀬絣等の伝統工芸品の展示即売
- ・伝習生を募り、広瀬絣製作技術の保存と伝習



絣センター全景



広瀬絣 製作風景

				予算に関する説明書ページ数		P119					
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課					
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計				
小事業	70	観光交流プラザ管理費			款	07	商工費				
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費				
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06	観光施設管理費				
当初予算額 A			20,205,000 円		目的	集客により人々が集い、憩い、交流することによる地域活力向上を図る。					
財源内訳	国・県支出金		0 円								
	地方債		0 円								
	その他	使用料外	2,808,000 円								
	一般財源		17,397,000 円								
人件費コスト B		0.5人役	4,026,500 円		総事業費 A+B	24,231,500 円					
<p>観光交流拠点施設「アラエッサ♪YASUGI」の維持管理を行うとともに、観光案内所においてはJR利用の観光客への観光案内・情報提供・イベントのPRをする。行政コーナーにおいては各種証明書の発行業務等により、観光客及び市民の利便性向上を図る。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>50,000</td> </tr> </tbody> </table>								成果指標	目標値	利用者数(人)	50,000
成果指標	目標値										
利用者数(人)	50,000										

				予算に関する説明書ページ数		P119					
大事業	45	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課					
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計				
小事業	75	道の駅あらエッサ管理費			款	07	商工費				
事業開始年度		平成28年度			項	01	商工費				
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06	観光施設管理費				
当初予算額 A			28,809,000 円		目的	地域振興及び観光振興を図る。					
財源内訳	国・県支出金		0 円								
	地方債	過疎	600,000 円								
	その他	使用料外	14,133,000 円								
	一般財源		14,076,000 円								
人件費コスト B		0.5人役	4,026,500 円		総事業費 A+B	32,835,500 円					
<p>島根県及び安来市の東の玄関口である道の駅「あらエッサ」の施設管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅全体の維持管理を行う。あわせて来場者へ、情報コーナーを利用し道路及び地域、観光の案内や情報提供を行う。 集客イベントを開催し、交流人口の拡大、地域振興ひいては安来市のPRを図る。 <p>島根県及び安来市の東の玄関口である道の駅「あらエッサ」の施設管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅全体の維持管理を行う。あわせて来場者へ、情報コーナーを利用し道路及び地域、観光の案内や情報提供を行う。 集客イベントを開催し、交流人口の拡大、地域振興ひいては安来市のPRを図る。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>250,000</td> </tr> </tbody> </table>								成果指標	目標値	利用者数(人)	250,000
成果指標	目標値										
利用者数(人)	250,000										

大事業	55	都市基盤・生活	担当部署	市民企画課	
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	バス事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成12年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	07 バス事業費
当初予算額 A			258,892,000 円		
財源内訳	国・県支出金	国6/10 県基準額制	14,434,000 円		
	地方債	過疎	20,800,000 円		
	その他	使用料外	51,085,000 円		
	一般財源		172,573,000 円		
人件費コスト B		2.5人役	20,132,500 円	総事業費 A+B	279,024,500 円

目的
地域住民の日常生活を支える交通手段の確保を図る。利便性の高い公共交通を提供し、地域内外の移動を誘発し、交流と地域の活性化を促進する。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【広域生活バス運行事業】	234,759,000円	13,234,000円	0円	51,085,000円	170,440,000円
--------------	--------------	-------------	----	-------------	--------------

公共交通機関である広域生活バスの運行を行い、地域住民の公共福祉の推進を図る。
「わかりやすく、利用しやすいバス」を目指して、バス車内に降車案内表示盤を設置するほか、高齢者を中心とした利用促進事業を実施する。また、交通の需要や地域の実情に応じた公共交通の見直しを行い、安心して暮らせる生活交通ネットワークの構築を図る。

成果指標	目標値
イエローバスの乗車人数年間累計数（5年間の平均）	36万人

【イエローバス購入及びバス停留所整備事業】	22,000,000円	1,200,000円	20,800,000円	0円	0円
-----------------------	-------------	------------	-------------	----	----

- ・ 老朽化したバスを更新する(2台)
- ・ バス停留所を設置し、バス待合環境を整備する。(1箇所)

【代替バス運行補助（奥出雲交通）】	1,980,000円	0円	0円	0円	1,980,000円
-------------------	------------	----	----	----	------------

- 西比田～亀嵩間の運行に関する補助
- ・ 5系統、9往復／日（平日）、6往復／日（土・日・祝日）

【バス運行補助（南部町）】	153,000円	0円	0円	0円	153,000円
---------------	----------	----	----	----	----------

- 伯太町須山から南部町境までの運行を南部町に依頼し、その経費の一部を負担
- ・ 1系統、4往復／日



【本格運行予定の市街地循環バス】



【高齢者向け バスの乗り方教室】